

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	少年・婦人消防クラブ活動事業				担当部	消防本部				
	会計区分	一般会計				担当課	予防課				
	事業期間	平成26年度以前 ~ 平成30年度まで				担当係	予防係				
	基本施策・展開方向	1 安全・環境		3 消防・救急		2 火災予防対策を充実します					
	予算区分	款	9	項	1	目	1	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画									
	目的	何・誰を対象に	市内の小学4～6年生、中学生及び婦人を対象に								
		どの様な状態にするのか	防火防災の意識の向上及び、将来又は現在の地域の防火・防災の担い手になるよう事業を推進								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆平成28年度実施内容</p> <p>1 少年消防クラブ</p> <p>(1) 火災、救急(AED)、地震等の体験ができる愛知県消防学校1日入校に市内16小学校から各2名の計32名入校。</p> <p>(2) 平成27年度までは、AEDの取扱い等が学べる救命入門コースのみ4回行っていたが、参加者が少ないため、火災の恐ろしさ、住宅用火災警報器の重要性及びAED取扱いを学ぶ夏休み消防教室に変更。平成27年度21名、平成28年度75名が参加。</p> <p>(3) 火災予防の周知を図るため、秋季・春季火災予防運動に伴う防火広報を 秋・春各1回 実施し7名参加。</p> <p>(4) 火災予防の関心を深めさせるため、夏休みに防火ポスターを募集、544点の応募があり上位入賞作品を展示。</p> <p>(5) 火災予防の関心を深めさせるため、冬休みに防火習字を募集、369点の募集があり、上位入賞作品を展示。</p> <p>(6) 防火意識向上及び少年消防クラブの活動等の紹介するため、小牧市少年消防クラブ会報を各小学校に3回送付。</p> <p>2 婦人消防クラブ</p> <p>(1) 各クラブに補助金を上限1万円交付(クラブ員5名以上で、希望クラブのみ。19クラブに交付)。</p> <p>(2) 地区での訓練を実施。</p> <p>(3) 消火器の取扱い、救急(AED)等を学ぶ 愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科に2名入校。</p> <p>(4) 火災予防の周知を図るため、秋季・春季火災予防運動に伴う防火広報を 秋・春各1回 実施し8名参加。</p> <p>(5) AEDの取扱い等が学べる普通救命講習を4回実施し、50名参加。</p> <p>(6) 視察研修会(名古屋市港防災センター等)を実施し、26名参加。</p> <p>(7) 婦人消防クラブの未設置行政区に対しクラブ設置を依頼。</p> <p>◆平成28年度決算額(670,421円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費(少年消防クラブキャップ、一日入校昼食、婦人消防クラブ制服等)327,130円 ・ 役務費(傷害保険、クリーニング代等)16,720円 ・ 使用料及び賃借料(一日入校バス借り上げ、視察研修高速及び駐車場等)75,620円 ・ 負担金、補助金及び交付金(婦人消防クラブ負担金及び補助金)250,951円 <p>◆平成29年度予算額(1,207,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅費(婦人消防クラブ視察研修等随行)12,000円 ・ 需用費(少年消防クラブキャップ、一日入校昼食、婦人消防クラブ制服等)346,000円 ・ 役務費(傷害保険、クリーニング代等)28,000円 ・ 使用料及び賃借料(一日入校バス借り上げ、視察研修高速及び駐車場等)116,000円 ・ 負担金、補助金及び交付金(婦人消防クラブ負担金及び補助金)705,000円 									
	受益者負担										

コスト	費用	直接経費		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額
		正職員	従事者数	人	0.27	0.27	0.30	0.30
その他職員	人件費	千円	1,519	1,519	1,688	1,688		
	従事者数	人						
費用合計	人件費	千円						
	費用合計	千円	2,095	2,279	2,358	2,895		
財源	対前年比	%		108.7	103.4	122.7		
	一般財源	千円	2,095	2,279	2,358	2,895		
	国・県支出金	千円						
	その他財源	千円						

業	活動指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	績	少年消防クラブ消防学校1日入校	人	目標	32	32	32
実績				32	31	32	32
	女性消防クラブ指導者科	人	目標	2	2	2	2
			実績	2	2	2	
業	成果指標名	単位		H26	H27	H28	H29
	婦人消防クラブ員数	人	目標	1,165	863	905	827
実績			863	905	827	811	
	防火意識向上の割合	%	目標	—	—	90	90
			実績	—	—	97	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	計画していた事業は全て実施。 成果指標に関しては、より事業の有効性を評価するため平成28年度から少年消防クラブ消防学校1日入校及び女性消防クラブ指導者科に参加したクラブ員に対しアンケートを実施。アンケートから参加したクラブ員の防火意識向上の成果は出ている。 また、他にも婦人消防クラブ視察研修会でアンケートを行い、事業内容を評価。				
	平成29年度の実施内容	事業実施における課題	婦人消防クラブ員の高齢化・夫婦共働き家庭の増加等、近年の社会環境の変化に伴い活動できるクラブ員の確保ができないため、婦人消防クラブ及びクラブ員が減少傾向にある。 平成26年度 67クラブ 平成28年度 61クラブ 平成27年度 64クラブ 平成29年度 59クラブ				
	平成30年度の事業の方向性	29年度における実施内容や結果見込み	平成28年度と同様の内容で計画しており、夏休み消防教室は気象条件の関係(警報等)で開催数を短縮した。その他は、計画どおり事業が進んでいる。				
	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
削減額・削減対象	事務事業評価による額	27	千円	予算区分	11	節	節
判定理由・削減内容	これまでの取組みの結果、防火意識向上の割合については目標値を達成しており、一定の成果を得ている。しかし、婦人消防クラブ員の減少が続いている。同クラブ員は、本市の防火防災を担うために重要な人材であることから、今後もクラブ員の獲得に努めていく必要がある。ただし、消耗品費は事業にかかわる支出を見直した結果、削減可能な27千円の削減を図る。						
30年度以降の実施内容	少年消防クラブ員及び婦人消防クラブ員は、本市の防火防災を担う上で大変重要な人材である。よって、今後も事業を評価しつつ継続して、防火・防災意識の向上を図る。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。